

2024年

4月瀬戸蔵ミュージアム

Setogura Museum

催物案内



瀬戸焼の総合ミュージアム。
やきもののまち瀬戸を体感できます。
(入口は瀬戸蔵の2階です)



企画展示室 企画展 「瀬戸の鉄絵皿」

江戸時代後期の瀬戸窯では磁器生産がはじまる一方、陶器生産においては鉄絵具による製品も生産されました。軽妙な筆運びの石皿や行燈皿、馬の目皿、文様を丁寧に書き込んだ高麗手、南画系絵師による山水画など、幅広い作風を展示します。



鉄絵山水図大皿
横井金谷 画
江戸時代後期 (19世紀前期)

4月14日(日)まで

中央通りギャラリー 「瀬戸染付の系譜～明治から令和へ」「SAMS陶展」

【瀬戸染付の系譜～明治から令和へ】

明治より受け継がれてきた瀬戸染付の系譜を、作品・日本画・現在の作品と共に紹介。

【SAMS陶展】

SAMS(瀬戸陶磁器青年研修会) 会員の作品を展示。

4月21日(日)まで

旧尾張瀬戸駅構内 「モ754号 ～里帰りして20年～」

1965年から1973年まで瀬戸線の主力として親しまれたモ754は、運行当時と同じ緑色の車体、手動扉などに復元され、2005年の開館から瀬戸蔵ミュージアムに展示されています。運行当時の姿や瀬戸蔵への輸送・設置の様子を写真で紹介します。



モ754 山田司さん撮影

4月6日(土)～2025年3月30日(日)



開館時間：9：00～17：00 (入館は16：30まで)
入館料：一般：520円、65歳以上・高校生・大学生：310円、
中学生以下・妊婦・障害者手帳をお持ちの方：無料
年間パスポート：一般1570円、65歳以上・高大生940円

4月22日(月)は休館日です

お問い合わせ 瀬戸蔵ミュージアム 電話 0561-97-1190

